

# 2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年10月30日  
株式会社オリエンタルランド

## I. 決算概要

---

経理部長  
吉田 謙次

# 1. 上半期実績(前年同期比較)

Ⅰ. 決算概要

連結損益計算書	前年同期 (億円)	実績 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	2,300	2,227	△73	△3.2%
テーマパーク事業	1,897	1,844	△52	△2.8%
ホテル事業	317	297	△19	△6.3%
その他の事業	86	86	△0	△0.3%
営業利益	584	539	△44	△7.7%
テーマパーク事業	490	461	△29	△6.0%
ホテル事業	85	68	△16	△19.5%
その他の事業	8	9	1	14.6%
経常利益	575	549	△26	△4.5%
純利益	359	363	3	1.1%

東京ディズニーリゾート30周年の翌年であることから営業減益

3

# 1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

Ⅰ. 決算概要

テーマパーク事業①	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	1,897億円	1,844億円	△52億円	△2.8%
入園者数	1,536万人	1,510万人	△26万人	△1.7%
ゲスト1人当たり売上高	10,920円	10,769円	△151円	△1.4%
チケット収入	4,486円	4,565円	79円	1.8%
商品販売収入	4,108円	3,924円	△184円	△4.5%
飲食販売収入	2,326円	2,280円	△46円	△2.0%

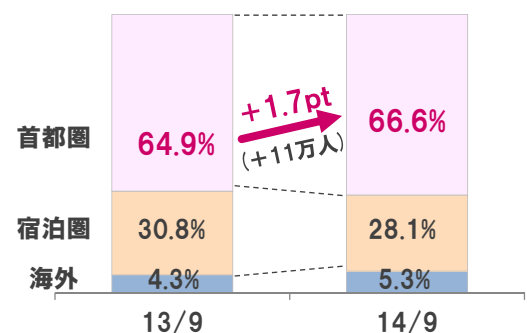
## 入園者数の減

- ・ 東京ディズニーリゾート30周年の翌年により減少するものの、過去2番目

## ゲスト1人当たり売上高の減

- ・ 商品販売収入の減  
 - 東京ディズニーリゾート30周年関連商品の販売終了による減

## 地域別入園者比率



入園者数は、前年同期に次いで過去2番目

4

# 1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

テーマパーク事業②	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	1,897億円	1,844億円	△52億円	△2.8%
営業利益	490億円	461億円	△29億円	△6.0%

## 営業利益の減

- ・ 売上高の減
- ・ 固定経費・諸経費の増  $\Delta 7$ 億円  
 - 「レジェンド・オブ・ミシカ」終了に伴う除却費  $\Delta 10$ 億円 など
- ・ 減価償却費の減  $+ 10$ 億円

※ 人件費は、前年同期並み

売上高の減少により減益

5

# 1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

ホテル事業	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	317億円	297億円	△19億円	△6.3%
営業利益	85億円	68億円	△16億円	△19.5%

・ 東京ディズニーリゾート30周年の翌年による客室稼働率の減など

## 客室稼働率一覧

\* 平均客室単価(実績)は、「決算補足資料」4ページをご覧ください

東京ディズニーランドホテル		東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ		ディズニーアンバサダーホテル	
前年同期	上半期実績	前年同期	上半期実績	前年同期	上半期実績
90%台後半	90%台後半	90%台後半	90%台後半	90%台後半	90%台前半

売上高の減少により減益

その他の事業	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	86億円	86億円	△0億円	△0.3%
営業利益	8億円	9億円	1億円	14.6%

売上高・営業利益は、ほぼ前年同期並み

6

## 1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

純利益	前年同期	実績	増減	増減率
営業利益	584億円	539億円	△44億円	△7.7%
営業外収益	15億円	14億円	△0億円	△6.1%
営業外費用	23億円	4億円	△19億円	△83.1%
経常利益	575億円	549億円	△26億円	△4.5%
法人税等	216億円	186億円	△29億円	△13.8%
純利益	359億円	363億円	3億円	1.1%

### 営業外費用 19億円の減

- ・社債償還損および支払利息の減
  - －前期実施したデット・アサンプションの影響

### 純利益 3億円の増

- ・法人税等の減
  - －復興特別法人税の廃止など

**営業利益の減少幅が小さい中、法人税等の減少などで、純利益は過去最高**

7

## 2. 上半期実績(期初予想比較)

I. 決算概要

連結損益計算書	期初予想 (億円)	実績 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	2,006	2,227	220	11.0%
テーマパーク事業	1,633	1,844	210	12.9%
ホテル事業	294	297	2	1.0%
その他の事業	79	86	6	8.8%
営業利益	368	539	170	46.3%
テーマパーク事業	300	461	161	53.7%
ホテル事業	64	68	4	6.5%
その他の事業	4	9	5	124.5%
経常利益	376	549	173	46.1%
純利益	253	363	109	43.1%

**テーマパーク事業を中心に大幅な増収増益**

8

## 2. 上半期実績(期初予想比較) - 主な増減要因

テーマパーク事業	期初予想	実績	増減	増減率
売上高	1,633億円	1,844億円	210億円	12.9%
営業利益	300億円	461億円	161億円	53.7%

### 営業利益の増

#### ・売上高の増

- 東京ディズニーランドの「ワンス・アポン・ア・タイム」や「ジャングルクルーズ:ワイルドライフ・エクスペディション」などの新規コンテンツや、両パークのスペシャルイベントの好調による入園者数の増
- ダッフィー関連商品(ジェラトニーなど)の好調などによるゲスト1人当たり売上高の増

#### ・商品原価率の減、飲食原価率の増 約+15億円

- 商品カテゴリー構成比の変化など

#### ・人件費の増 約△20億円

- 業績賞与、準社員労働時間の増

#### ・固定経費・諸経費の減 約+20億円

- 下半期への費用の時期ずれ 約+15億円など

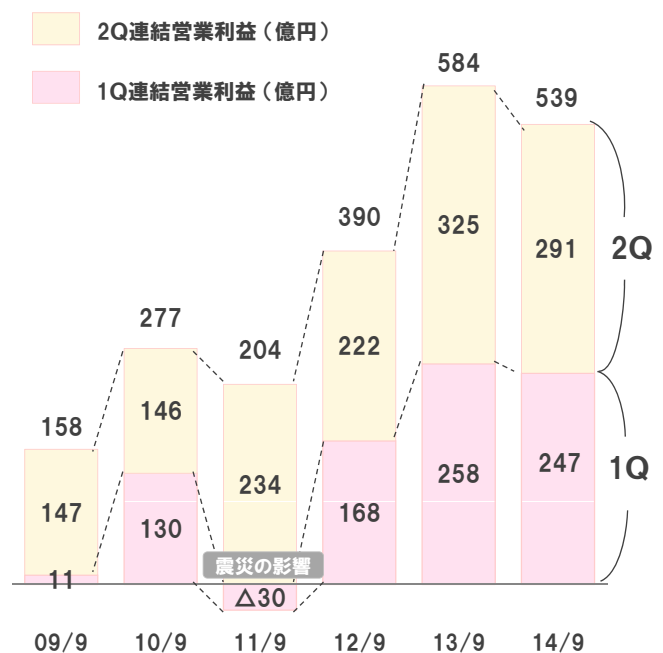
売上高の増加などにより増益

## 3. 上半期実績 - 業績推移

### 連結売上高・営業利益率の推移(上半期)



### 四半期別連結営業利益の推移(上半期)



売上高・営業利益ともに、前年同期に次いで過去2番目

## II. 通期業績予想



### 1. 通期修正予想(期初予想比較)

### II. 通期業績予想

連結損益計算書	通期 期初予想 (億円)	通期 修正予想 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	4,176	4,534	358	8.6%
テーマパーク事業	3,415	3,764	349	10.2%
ホテル事業	596	597	0	0.1%
その他の事業	165	173	7	4.8%
営業利益	831	1,017	185	22.3%
テーマパーク事業	703	880	177	25.3%
ホテル事業	122	123	0	0.7%
その他の事業	5	11	6	123.1%
経常利益	841	1,029	188	22.4%
当期純利益	555	673	118	21.3%
テーマパーク入園者数	2,800万人	3,040万人	240万人	8.6%
ゲスト1人当たり売上高*	10,620円	10,930円	310円	2.9%
設備投資額*	428億円	402億円	△26億円	△6.1%
減価償却費*	354億円	350億円	△4億円	△1.1%

\* 内訳は、「決算補足資料」をご覧ください

通期予想を上方修正

## 2. 下半期修正予想(期初予想比較) - 主な増減要因 II. 通期業績予想

下半期	下半期 期初予想	下半期 修正予想	増減	増減率
売上高	2,169億円	2,307億円	137億円	6.3%
営業利益	462億円	477億円	14億円	3.2%
テーマパーク事業	403億円	419億円	16億円	4.1%
ホテル事業	58億円	54億円	△3億円	△5.8%
その他の事業	1億円	2億円	1億円	117.9%

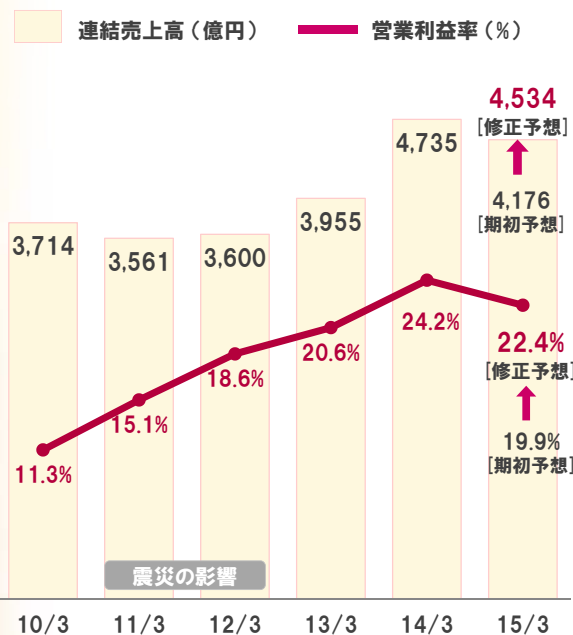
### テーマパーク事業 +16億円

- ・売上高の増
- ・商品原価率の減、飲食原価率の増 約+10億円
- ・人件費の増 約△20億円
  - －業績賞与、準社員労働時間の増
- ・固定経費・諸経費の増 約△55億円
  - －大型投資案件に向けた費用 約△15億円
  - －上半期からの費用の時期ずれ 約△15億円
  - －施設更新関連費、販促活動費など

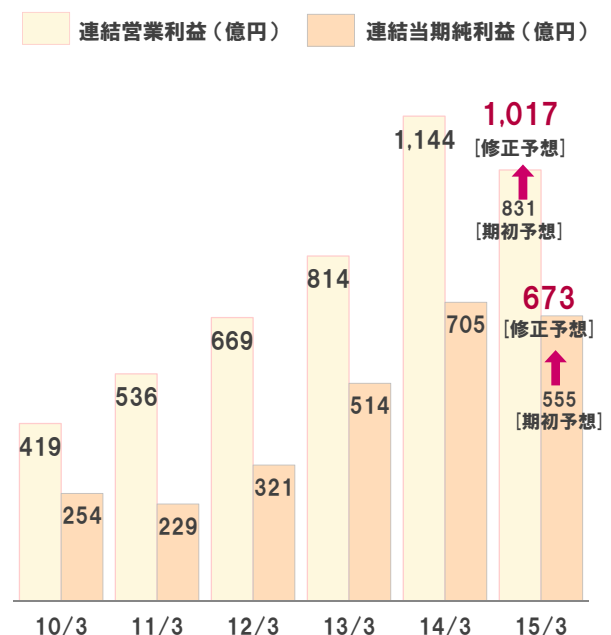
コストは増加するものの、増益の見込み

## 3. 通期修正予想(業績推移) II. 通期業績予想

### 連結売上高・営業利益率の推移



### 連結営業利益・当期純利益の推移



売上高・営業利益は、前期を下回るものの、高い水準



# III. 2016中期経営計画の 進捗状況

取締役 常務執行役員  
片山 雄一



## 2023ありたい姿

III. 2016中期経営計画の進捗状況

### テーマパーク価値の最大化に向けた投資

引き続き、キャストのホスピタリティ向上を図るとともに、以下の投資を実施

テーマパーク事業への投資規模(2014~2023年度合計) **5,000億円レベル**

#### 投資の方向性

東京 ディズニー ランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ファンタジーランドの再開発(刷新・拡張)」</li> <li>・その他新規プロダクト投資</li> </ul>	<p><b>オンステージ投資 4,000億円レベル</b></p> <p>〔 価値向上に向けた投資 2,500億円レベル 更新改良投資 1,500億円レベル 〕</p>
東京 ディズニー シー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロストリバーデルタ南側エリアにおける「新テーマポートの開発」</li> <li>・その他新規プロダクト投資</li> </ul>	
2パーク 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペシャルイベントの展開</li> <li>・快適な環境づくりに向けた整備</li> <li>・更新改良(インフラ整備含む) 等</li> </ul>	
バック ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート機能を含めた運営基盤の更なる強化 等</li> </ul>	
		バックステージ投資 1,000億円レベル

ハード・ソフト両面での魅力を高めることで、テーマパーク価値の最大化を図る



### 両パークの大規模開発構想

#### 方向性

- ・テーマパーク価値向上において大きなインパクトを与える大規模開発
- ・両パークのキャパシティの向上

#### 東京ディズニーランド 「ファンタジーランドの再開発(刷新・拡張)」

概要	複数の大型アトラクション、商品店舗、飲食店舗等からなるファンタジーランド全体の再開発
導入時期	「2016中期経営計画」期間以降
開発エリア	現在のファンタジーランド全域(刷新)、およびトゥモローランドとバックステージの一部(拡張) ※現在のファンタジーランドが約2倍となる規模

#### 東京ディズニーシー 「新テーマポートの開発」

概要	複数の大型アトラクション、商品店舗、飲食店舗等からなる新テーマポートの開発
導入時期	「2016中期経営計画」期間以降
開発エリア	ロストリバーデルタの南側に隣接する拡張用エリア ※アラビアンコーストとほぼ同規模

開発計画の詳細は、決定次第発表

## 東京ディズニーランド「ファンタジーランドの再開発」イメージ



## 2パークの大規模開発エリア

東京ディズニーランド「ファンタジーランドの再開発」エリア



東京ディズニーシー「新テーマポートの開発」エリア



©Disney

※ 現時点での構想段階のものです。今後変更になる場合があります。

19



### 2023ありたい姿

III. 2016中期経営計画の進捗状況

#### 快適な環境づくりに向けた整備

方向性 ・ゲスト満足度向上に向けたサービスレベルの向上

##### 具体例

- ・ショー鑑賞エリアの再整備
- ・レストランの更なる充実
- ・サービス施設の快適化
- ・IT環境の再整備

等を検討・実施

#### サポート機能を含めた運営基盤の更なる強化

方向性 ・入園者数レベルとゲストサービスの最大化に向けたサポート施設の拡充  
・サポート施設の移設による事業用地(テーマパーク用地含む)の創出

##### 具体例

- ・ロジスティクスセンター、セントラルキッチンの近隣所有地へ移設及び拡充
- ・事務部門の一部機能を近隣所有地へ移転

等を検討・実施

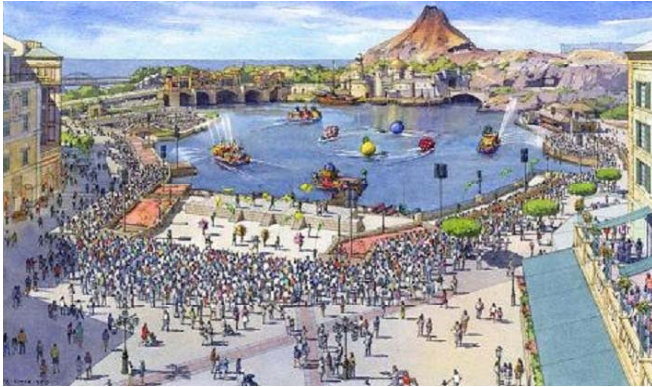
**テーマパークの持続的成長に必要な投資を実施**

20



## ショー鑑賞エリアの再整備、レストランの更なる充実の事例

ショー鑑賞エリアの再整備の例



東京ディズニーシーのメディテレーニアンハーバーにおけるショーの視認性の向上および鑑賞エリアの拡大（2015年3月1日より使用開始予定）

レストランの更なる充実の例



パレード鑑賞ができるレストランの導入などを検討

©Disney

※ 現時点での構想段階のものです。今後変更になる場合があります。



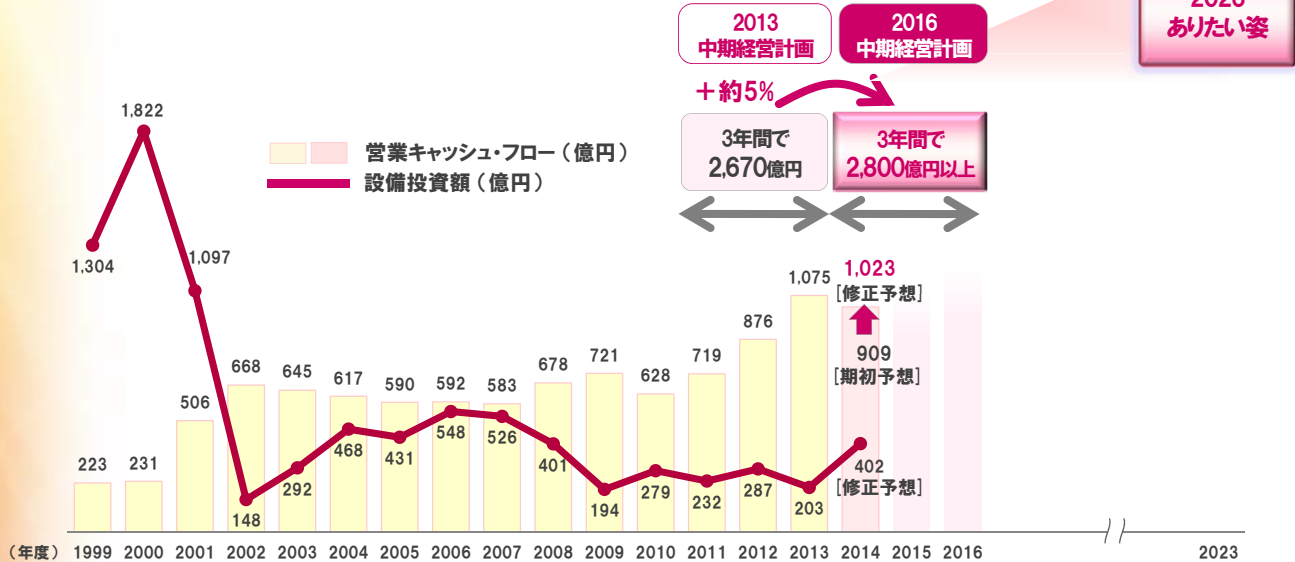
©Disney

※ 現時点での構想段階のものです。今後変更になる場合があります。

**目標値：営業キャッシュ・フロー\*3年間で2,800億円以上**

\* 営業キャッシュ・フロー＝当期純利益＋減価償却費

### 営業キャッシュ・フローおよび設備投資額の推移



**2023  
ありたい姿**

**営業キャッシュ・フローの最大化により大規模投資の原資を創出**

### (1) テマパーク価値の向上

#### 主な新規プロダクトの概要

- ワンス・アポン・ア・タイム** (投資額 約20億円)  
2014年5月29日スタート (プロジェクションマッピングを用いた新ナイトエンターテインメント)
- ジャングルクルーズ: ワイルドライフ・エクスペディション** (投資額 約16億円)  
2014年9月8日オープン (新たなショー効果や音楽の導入)
- メディテレーニアンハーバー新鑑賞エリア** (投資額 約25億円)  
2015年3月1日使用スタート予定
- キング・トリトンのコンサート** (投資額 約40億円)  
2015年4月24日スタート予定 (映画『リトル・マーメイド』の世界を舞台にした新しいミュージカルショー)
- 東京ディズニーランド・エレクトリカルバラード・ドリームライツのリニューアル** (投資額 約20億円)  
2015年7月9日リニューアル予定 (『塔の上のラプンゼル』をテーマにしたフロアの追加など)
- スティッチ・エンカウンター** (投資額 約20億円)  
2015年夏オープン予定 (スティッチとインタラクティブに会話し楽しめるシアタータイプのアトラクション)
- ハンガーステージ: 新ミュージカルショー** (投資額 未定)  
2016年春～夏スタート予定

東京ディズニーランド  
新規プロダクト

東京ディズニーシー  
新規プロダクト

**テーマパーク価値の最大化に向けた大型投資案件等を決定し、順次着手**

		東京ディズニー 15周年		東京ディズニー リゾート 35周年
2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
<b>2016 中期経営計画</b>				

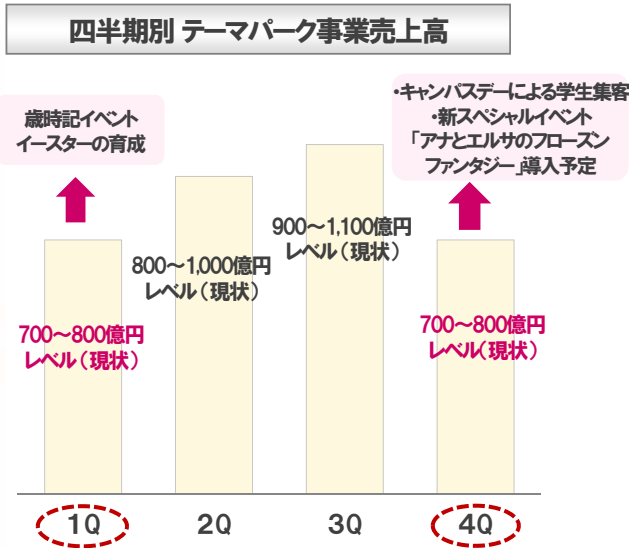
**テーマパーク価値の更なる向上を図る**



## (2) 平準化による入園者数の向上

### 1Q・4Qの入園者数の向上

スペシャルイベント等の展開とマーケティング活動の組み合わせによる集客力の向上



**第1四半期**  
東京ディズニーランド/東京ディズニーシー  
**ディズニーイースター**  
(2015年4月2日~6月23日、83日間)  
2015年度から東京ディズニーシーを加えた  
2つのパークで展開

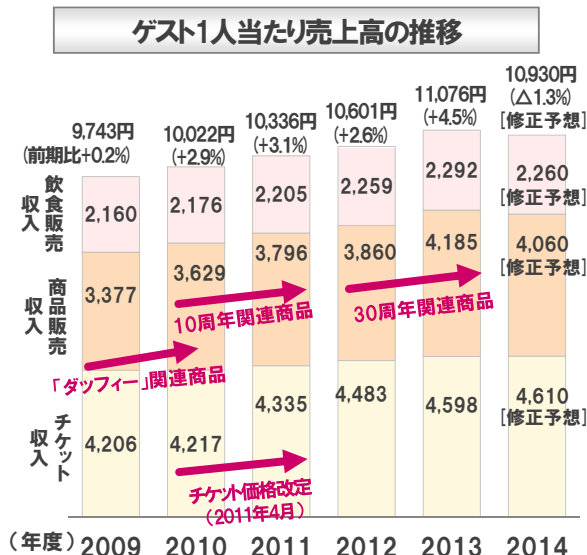
**第4四半期**  
東京ディズニーランド  
**アナとエルサのフローズンファンタジー**  
(2015年1月13日~3月20日、67日間)  
(2016年1月12日~3月18日、67日間)  
大ヒットのディズニー映画『アナと雪の女王』を  
テーマにしたスペシャルイベントを開催

第1四半期・第4四半期に新規スペシャルイベントを投入

## (3) 体験価値に応じた価格戦略

### 中長期的な単価の向上

新たな価値創造や戦略的価格設定による単価の向上



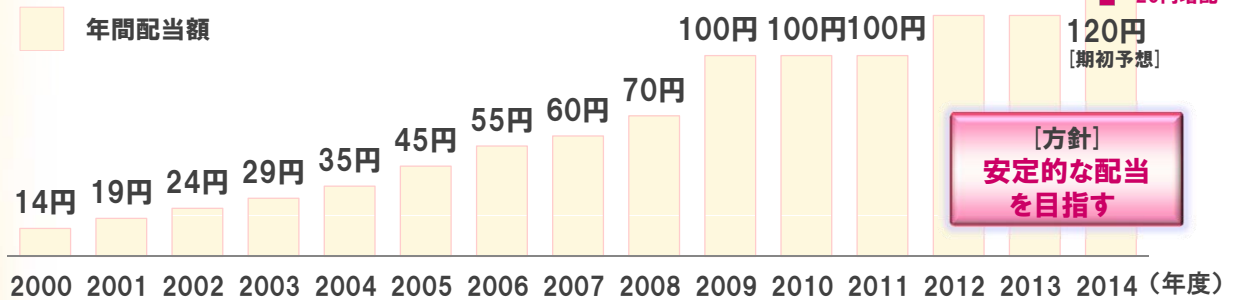
**商品単価の向上**  
**「ジェラトニー」**  
(2014年7月4日~)  
「ダッフィー」関連商品として、4年ぶりに  
新キャラクターを投入

**チケット価格改定**  
**アフター6パスポートの価格改定**  
(2014年9月1日~)  
(改定前) 3,400円 → (改定後) 3,900円  
引き続き、テーマパーク価値に見合った  
チケット価格設定を検討

今後も中長期的な単価の向上を目指す

#### (1) 株主還元 - 配当

##### 1株当たり年間配当額の推移

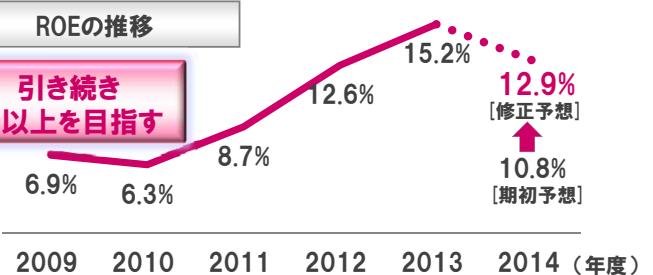


#### (2) ROE

今年度は、12.9%となる見込み

##### ROEの推移

引き続き  
8%以上を目指す



**株主還元を着実に実施**



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

[www.olc.co.jp](http://www.olc.co.jp)

##### 注意事項：

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。

本資料の転載はご遠慮ください。